

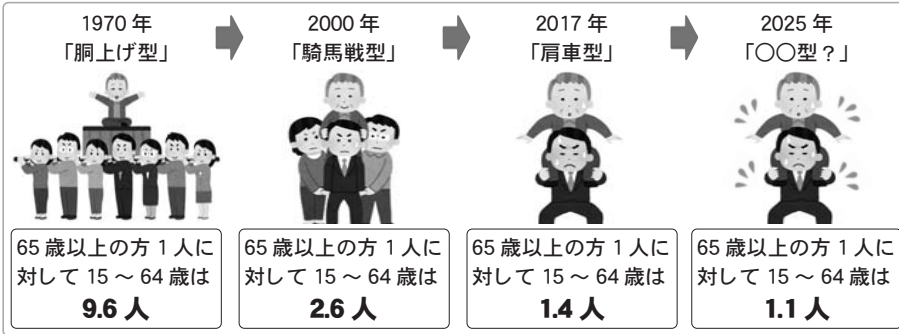
みんなの「ちょっと」が地域の「ほっと」に

みんなの力で ささえあおう

町では、高齢者を地域でささえあう仕組みや必要なサービスを検討し、訓子府町生活支援サービスの充実を図る「協議体」が平成29年4月から活動を開始しています。また平成30年4月からは「生活支援コーディネーター」を配置しました。訓子府町がより良いまちになるよう、できることから活動を行っています。

知っていますか？ まちの状況

町の人口は年々減少しています。特に15～64歳の世代が減り、65歳以上の方の割合が増えています。15～64歳の方一人で、65歳以上の方一人を支えるようになってきました。高齢の方が増えると、介護が必要な方も増え、介護保険サービスを利用する方も増えます。介護保険サービスは、税金や介護保険料などによって賄われているので、今後高齢化率が上がることに伴い、介護保険料も上がることが想定されます。そのため、身近な地域でのささえあいを再認識し、2025～2030年に深刻化が予想される地域課題を見いだして解決する新たな地域づくりの仕組みが必要になります。



◆ほっとなまちをつくり隊（協議体）とは

訓子府町がより暮らしやすい「まち」であるために、訓子府町に住む方が地域づくりについて考え、自ら動きます。訓子府町では、協議体の名称を「ほっとなまちをつくり隊」としました。

- ①語り合う場
地域の困りごとなどをメンバーで語り合い、地域の課題を発見します。
- ②話し合う場
どのように地域課題を解決に導くのか、実現に向けてアイデアを出し合い、計画を立てます。
- ③活動する場
計画を立てたら役割を決めて、実際に地域づくり活動を行い、課題を解決します。



誰もが安心して暮らせるように

ささえあい講演会を開催

地域のささえあいの輪が広がり、「ほっとなまちをつくり隊」の理解を深めていただくため、講演会「どうつくる？ほっとするまち訓子府～みんなでささえあいまちづくり」を2月に開催しました。講師にNPO法人「のどか」理事長の高木悟さんを招き、約70人が参加。講演では協議体の役割やこれからの地域づくりなどへのアドバイスをいただきました。



「ほっとなまちをつくり隊」活動の様子

「ささえあい講演会」を参考に、ささえあいについて考える仲間を増やすため、「ほっとカード」を作成しました。住民の方に対する「ほっとなまちをつくり隊」の周知や訓子府町に大事なささえあいの理解者、賛同者が増えるよう「ほっとカード」を作成し、住民や町内事業所などに配布し、ささえあいの輪を広めています。

生活支援コーディネーターにご相談ください

平成30年4月から訓子府町社会福祉協議会の職員が、地域活動の充実・新たな活動の創出に向けた取り組みを行うため、生活支援コーディネーターとして活動しています。

地域におけるささえあいの仕組みづくりをより一層、充実・強化することをめざしていきます。

住民の困りごとに対するサービス情報などの提供や相談に対応する担い手の育成・発掘、住民主体のささえあいの地域づくりを進めていきますので、何かありましたら生活支援コーディネーターにご相談ください。



細川 清美 岡部 佳介

■問合せ 町社会福祉協議会 (☎ 47-3536)

ほっとなまちをつくり隊のメンバーを募集しています

現在、ほっとなまちをつくり隊は「協議体学習会」に参加していただいた方を中心に活動しています。地域づくりに興味・関心のある方ならどなたでも大歓迎です。たくさんの方の意見を参考に町のためにできることを考えていきます。

「まちの課題を考えたい」「ボランティア活動をしたい」「『ささえあい』に関心がある」「地域の困りごとを相談したい」など興味・関心のある方は、ぜひ参加してみませんか。見学も可能ですので、福祉保健課高齢者支援係までお問い合わせください。

◇例会は、毎月第4木曜日 13時30分から町公民館で開催しています。

■問合せ 福祉保健課高齢者支援係 (☎ 47-5555 総合福祉センター 窓口7番)